

とよた市議会だより



目次

■ トップインフォメーション	特別委員会の調査研究結果	2
■ 議案説明・討論		3
■ 議案審議結果		4
■ 常任委員会		6
■ 一般質問	市政を問う！ 22人の議員が質問	8
■ トピックス		
	市議会がラグビーワールドカップ 2019™をPR	
	市議会報告会を開催しました など	12

表紙の写真（議案第172号関係）

旭高原元気村の雪そりゲレンデの様子です。そりで白銀の世界を思いっきり楽しめます。今定例会では、旭高原元気村を含む旭高原自然活用村の指定管理者の指定が審議されました。

定例会号

12月市議会

平成31年2月1日



特別委員会の調査研究結果

市議会では、市の重要な課題の検証や議会の活性化に向けた取組を専門的に調査・研究する特別委員会を設置しています。

今回は、これまで調査・研究してきた内容を報告します。



市長へ報告書を提出

豊田スタジアムを生かしたまちづくり特別委員会

ラグビーワールドカップ 2019™ を契機に、豊田市をより魅力あるまちに!

設置目的

ラグビーワールドカップ2019™の国内会場の一つである豊田スタジアムを生かし、本市として大会成功、広域スポーツ振興、地域活性化に寄与し、国際都市としてのさらなる飛躍、発展等を目指し調査・研究を行う。

提言内容

(一部抜粋)

- 1 中心市街地とつながる中央公園整備
駅前整備など複数の計画と連携した整備が必要
- 2 スタジアムの歴史を伝える・見せるための取組
大会資料の展示などによる豊田スタジアムへの来訪の仕掛け
- 3 大会後を見据えた取組
駅前利活用の継続によるにぎわいづくり
- 4 民間との連携、協力、共働による取組
市民自ら参加・体験できるイベントの実施
- 5 SNSの活用と市内・市外に向けたさらなるPR
豊田市サポーター登録制度の構築とSNSの活用によるボランティア参加への仕組みづくり
- 6 おもてなし体制の構築とアピール
今大会を機におもてなしの体制を整備し、世界にアピール
- 7 これまでの提言の振り返り
3年間の提言も踏まえた取組の推進
- 8 継続して調査研究を行う特別委員会の必要性
重点プロジェクトやまちづくりなどは複数年の調査研究を行うこと
- 9 市議会自らが動くこと
平成30年度に行った大会PRの手応えを踏まえ、市の重要施策に対する市議会の積極的な活動

議会ICT化推進特別委員会

タブレット端末を使用してより効率的な議会活動を行います!

設置目的

議会のICT化推進の一環として、円滑かつ効果的な議会活動に資するタブレット端末の導入について調査・研究を行う。

提言内容

(一部抜粋)

- 1 必要な使用場面(範囲)に基づく機能の明確化
本会議をはじめとするすべての会議、情報提供、スケジュール管理等に使用し、それに基づいた機種等を選定
- 2 議会内LAN等の環境及び議員情報提供方法との一体的な整備
タブレット端末のメリットを活かした情報提供方法とし、それに伴う環境を整備
- 3 費用負担のあり方
当面は議会費から費用を負担することとし、今後は利用状況を分析し、政務活動費等からの負担も視野に入れ、引き続き検討



条例の一部改正、工事請負契約の締結など81議案を議決

中学校への空調機器の整備を進めていきます

【議案第121号】平成30年度一般会計補正予算

一般会計の補正は、32億4,600万円の増額で、補正後の予算総額は1,844億9,500万円です。歳出の主なものは、中学校の空調機器整備であり、国からの交付金、教育施設整備基金繰入金、市債などを財源として実施します。生徒が快適な環境で学校生活が過ごせるように早期の整備に努めていきます。

市内公共施設の管理者が決定しました

【議案第130号から第190号】指定管理者の指定

指定管理者制度とは、民間の事業者・団体等を指定して公共施設を管理する制度です。市民サービスの向上と施設の効率的な管理運営を図るため、指定管理者を指定しました。



猿投棒の手ふれあい広場 豊田市こども棒の手演技大会

南部地区に1次救急診療所等を新築します

【議案第193号】工事請負契約の締結（(仮称)南部1次救急診療所等新築工事）

福祉及び医療体制の充実のため、(仮称)南部1次救急診療所等を新築するための工事請負契約を締結します。この施設は1次救急診療所のほか、障がい者就労施設と子どもの外来療育施設を併設します。開設は2020年7月を予定しています。

討 論

12月市議会定例会最終日に各委員会審査の委員長報告を受けて、各会派等が賛成、反対の意見を述べ、賛同を求めました。
※発言順に記載

根本美春
諸 派

多額な公費をつぎ込んだ指定管理のあり方は疑問であり、反対

議案第187号：反対。指定管理者制度そのものに全て反対という態度ではないが、丁寧に検討し、方向を定めるべき。中央公園の指定管理者として株式会社豊田スタジアムを指定する議案は、多額な公費をつぎ込む管理のあり方に疑問であり、反対。

請願第3号：賛成。請願者は、介護・福祉・医療などの社会保障施策全般に関して、住民の福祉の増進という自治体の役割の本旨に従って、施策の拡大と国・県に意見を表明することを求めている。施策拡充の請願書には、賛成。

板垣清志
自民クラブ

豊田スタジアムのさらなる有効利用に期待し、賛成

議案第121号：賛成。学校現場の暑さ対策として、2019年6月末までに中学校の普通教室・特別教室などの空調設備の運転開始を目指し、設置を前倒しして業者を確保。学校運営に配慮した設置工事を評価し、賛成。

議案第187号：賛成。中央公園は、現指定管理者が運営ノウハウを活かし、市への経済波及効果や中心市街地の賑わいなどももたらしている。豊田スタジアムの有効活用を考えると、現指定管理者を選定することが有効的であり、賛成。

吉野英国
市民フォーラム

身近な医療につながる南部地区の1次救急診療所等新築に、賛成

議案第130号～第190号：賛成。指定管理者の指定については、今回の公募審査において、前回更新時と比べ約200万円の経費削減につながったことを評価。さらなる民間活力導入に向け公募率向上への取組に期待し、賛成。

議案第193号：賛成。南部地域に休日における1次救急診療所等を新築することで、より身近に診療を受けられる。軽度患者の効果的な分散化と、利用促進になるよう、市民へ確実に周知し、適切な医療行動につながることを期待し、賛成。

榎屋小百合
公明党

患者や家族が安心して療養生活を送れる取組に期待し、賛成

議案第120号：賛成。指定難病の拡大に伴い、支給の対象範囲も拡大。制度を維持可能とするため金銭的な支援は見直しを図るも、専門医による個別相談を行うなど、患者や家族への寄添い型、伴走型の支援が期待できることから、賛成。

請願第3号：反対。本市の実情にそぐわない内容が含まれている。例えば、高齢者福祉施策の充実については「高齢者クラブ」への助成により、高齢者同士の支え合いや社会参加などの根本的な課題解決に、既に取り組んでいることから、反対。

岡田耕一
諸 派

早期の保育ニーズへの対応に期待し、賛成

議案第119号：賛成。市が行ってきた飲食用ビン、飲料用缶の処理を民間事業者へ移行することによる民間事業の活性化に期待。市民や共同利用するみよし市にも影響がない。年間約1,500万円の経費削減効果を見込むことなどを評価し、賛成。

議案第192号：賛成。民間移管が予定される高嶺こども園は、移管後の工事の方が市の財政には良いが、早期に保育ニーズに対応したいという姿勢を評価。園舎の構造、レイアウト、豊田市産材の木材の活用などを評価し、賛成。



※議案名など一部省略して記載しています

議案審議結果

議案	採決結果	会派別賛否 ※自民クラブは議長を除く								
		自民クラブ 25名		市民フォーラム 10名		公明党 4名		諸派 4名		
		賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	
12月市議会定例会に提出された案件										
◆議案										
第113号	市の議会の議員及び長の選挙における自動車の使用及びポスターの作成の公営に関する条例の一部改正条例	原案可決	25	0	10	0	4	0	4	0
114	個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正条例	//	25	0	10	0	4	0	2	2
115	市職員給与条例及び一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正条例	//	25	0	10	0	4	0	4	0
116	市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正条例	//	25	0	10	0	4	0	1	3
117	市特別職職員の給与を定める条例の一部改正条例	//	25	0	10	0	4	0	1	3
118	災害派遣手当条例の一部改正条例	//	25	0	10	0	4	0	4	0
119	一般廃棄物処理施設条例の一部改正条例	//	25	0	10	0	4	0	4	0
120	特定疾患患者見舞金支給条例の一部改正条例	//	25	0	10	0	4	0	4	0
121	平成30年度一般会計補正予算	//	25	0	10	0	4	0	4	0
122	国民健康保険特別会計補正予算	//	25	0	10	0	4	0	4	0
123	都市計画事業土地区画整理特別会計補正予算	//	25	0	10	0	4	0	4	0
124	分譲住宅建設事業特別会計補正予算	//	25	0	10	0	4	0	4	0
125	介護保険事業特別会計補正予算	//	25	0	10	0	4	0	4	0
126	後期高齢者医療特別会計補正予算	//	25	0	10	0	4	0	4	0
127	産業用地造成事業特別会計補正予算	//	25	0	10	0	4	0	4	0
128	工事請負契約の締結((仮称)松平地域体育館等用地造成工事)	//	25	0	10	0	4	0	4	0
129	(一級河川安永川開水路整備工事(下林工区その2))	//	25	0	10	0	4	0	4	0
130	指定管理者の指定(地域文化広場)	//	25	0	10	0	4	0	2	2
131	(歌舞伎伝承館)	//	25	0	10	0	4	0	4	0
132	(喜楽亭)	//	25	0	10	0	4	0	4	0
133	(城跡公園足助城)	//	25	0	10	0	4	0	4	0
134	(棒の手会館及び猿投棒の手ふれあい広場)	//	25	0	10	0	4	0	2	2
135	(総合野外センター)	//	25	0	10	0	4	0	4	0
136	(旭総合体育館ほか3施設)	//	25	0	10	0	4	0	4	0
137	(猿投コミュニティセンター体育館及び武道場)	//	25	0	10	0	4	0	4	0
138	(高岡公園体育館ほか2施設)	//	25	0	10	0	4	0	2	2
139	(東山体育センターほか2施設)	//	25	0	10	0	4	0	4	0
140	(藤岡体育センターほか3施設)	//	25	0	10	0	4	0	2	2
141	(石野運動広場ほか5施設)	//	25	0	10	0	4	0	4	0
142	(五ヶ丘運動広場)	//	25	0	10	0	4	0	4	0
143	(稲武夏焼グラウンド及び農林漁家高齢者センター)	//	25	0	10	0	4	0	4	0
144	(藤岡山村広場)	//	25	0	10	0	4	0	4	0
145	(下山西部プール)	//	25	0	10	0	4	0	2	2
146	(とよた市民活動センター)	//	25	0	10	0	4	0	4	0
147	(市民文化会館)	//	25	0	10	0	4	0	4	0
148	(コンサートホール・能楽堂)	//	25	0	10	0	4	0	4	0
149	(交流館)	//	25	0	10	0	4	0	4	0
150	(西部コミュニティセンター)	//	25	0	10	0	4	0	4	0
151	(高岡コミュニティセンターほか2施設)	//	25	0	10	0	4	0	2	2
152	(高橋コミュニティセンター及び加茂川公園)	//	25	0	10	0	4	0	2	2
153	(平戸橋いこいの広場及び平戸橋公園)	//	25	0	10	0	4	0	2	2
154	(自然観察の森)	//	25	0	10	0	4	0	4	0
155	(里山くらし体験館)	//	25	0	10	0	4	0	4	0
156	(百年草)	//	25	0	10	0	4	0	4	0
157	(藤岡ふれあいの館)	//	25	0	10	0	4	0	2	2
158	(市営駐輪場)	//	25	0	10	0	4	0	2	2
159	(福祉センター)	//	25	0	10	0	4	0	4	0



12月市議会定例会に提出された案件

採決結果	会派別賛否	※自民クラブは議長を除く								
		自民クラブ 25名		市民フォーラム 10名		公明党 4名		諸派 4名		
		賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	
◆議案										
第160号	指定管理者の指定(老人福祉センター豊寿園)	原案可決	25	0	10	0	4	0	4	0
161	// (老人福祉センターぬくもりの里ほか6施設)	//	25	0	10	0	4	0	4	0
162	// (東山デイサービスセンター)	//	25	0	10	0	4	0	4	0
163	// (高齢者温泉休養施設)	//	25	0	10	0	4	0	4	0
164	// (障害者総合福祉会館)	//	25	0	10	0	4	0	4	0
165	// (さくらワークス)	//	25	0	10	0	4	0	4	0
166	// (障害者総合支援センター)	//	25	0	10	0	4	0	4	0
167	// (こども発達センター)	//	25	0	10	0	4	0	4	0
168	// (知的障害者グループホーム)	//	25	0	10	0	4	0	4	0
169	// (福祉就業センター)	//	25	0	10	0	4	0	4	0
170	// (藤岡保健センター)	//	25	0	10	0	4	0	4	0
171	// (高岡農村環境改善センター)	//	25	0	10	0	4	0	4	0
172	// (旭高原自然活用村)	//	25	0	10	0	4	0	4	0
173	// (足助トレーニングセンターほか3施設)	//	25	0	10	0	4	0	4	0
174	// (下山トレーニングセンター及び下山運動場)	//	25	0	10	0	4	0	4	0
175	// (旭農林会館)	//	25	0	10	0	4	0	4	0
176	// (どんぐりの里いなぶ)	//	25	0	10	0	4	0	4	0
177	// (稲武どんぐり工房)	//	25	0	10	0	4	0	4	0
178	// (森林会館)	//	25	0	10	0	4	0	4	0
179	// (下山基幹集落センター及び下山憩の家)	//	25	0	10	0	4	0	4	0
180	// (御内製作工房施設)	//	25	0	10	0	4	0	4	0
181	// (産業文化センター及び青少年センター)	//	25	0	10	0	4	0	4	0
182	// (王滝渓谷バーベキュー場)	//	25	0	10	0	4	0	4	0
183	// (香嵐渓施設)	//	25	0	10	0	4	0	4	0
184	// (香恋の里)	//	25	0	10	0	4	0	4	0
185	// (上郷公園)	//	25	0	10	0	4	0	4	0
186	// (猿投公園)	//	25	0	10	0	4	0	4	0
187	// (中央公園)	//	25	0	10	0	4	0	2	2
188	// (毘森公園)	//	25	0	10	0	4	0	4	0
189	// (柳川瀬公園)	//	25	0	10	0	4	0	4	0
190	// (新婚者住宅まいる聖心ほか22施設)	//	25	0	10	0	4	0	4	0
191	町名称の変更(舞木町下伊保路ほか3町)	//	25	0	10	0	4	0	4	0
192	工事請負契約の締結(市立高嶺こども園園舎改築工事)	//	25	0	10	0	4	0	4	0
193	// ((仮称)南部1次救急診療所等新築工事)	//	25	0	10	0	4	0	4	0
◆同意										
第8号	人権擁護委員の推薦(再任:石川みつ子氏、小瀬垣五十鈴氏/新任:宇野真知子氏、加藤章氏、星田恵子氏)	同意	25	0	10	0	4	0	4	0
◆報告										
第11号	専決処分の報告(損害賠償額の決定:7件、訴えの提起:1件、契約の変更:2件)									
12	専決処分の報告(損害賠償額の決定:1件)									
◆請願										
第3号	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願書	不採択	0	25	0	10	0	4	2	2
◆陳情										
第11号	国に対して「待機児童と保育士不足解消のための実効性ある対策を求める意見書」の提出を求める陳情書									
12	国に対して「放課後児童支援員等の処遇改善事業に係る事務等の簡素化を求める意見書」の提出を求める陳情書									
13	国に対して「学童保育指導員の資格と配置基準の堅持を求める意見書」の提出を求める陳情書									
◆議員提出意見書										
第3号	認知症施策の推進を求める意見書(案)	原案可決	25	0	10	0	4	0	4	0



常任委員会とは

常任委員会とは、地方公共団体の議会が地方公共団体の事務に関する調査、議案及び陳情等の審査を行わせるために、条例で定め常設する委員会のことです。本市では、以下の6委員会が常任委員会となります。

産業建設 委員会

12月13日、付託された15議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。

【第129号】工事請負契約の締結（一級河川安永川開水路整備工事（下林区工区その2））

質問 施工業者による工事車両の行き来が予想されるが、近隣への安全対策はどのようなか。

答弁 今後の発注も合わせると10社近い施工業者が同時に作業をすることとなるため、全施工業者による連絡調整会議を定期的開催し、工事車両の通行ルートなどの調整を行い、地域住民への影響が最小限となるように配慮する。

また、工事の施工状況や迂回経路などの情報が、近隣住民にわかりやすいように看板の設置や回覧などにより周知を図り、工事中の安全確保につなげていく。

【第190号】指定管理者の指定（新婚者住宅すまいる聖心ほか22施設）

質問 10月31日に発生した市営住宅家賃の誤徴収は、今回、単独指名で提案されている指定管理先の愛知県住宅供給公社により、誤って代理納付済である入居者の口座から重複して徴収され、23人の生活保護受給者に影響がでたと報告を受けている。次期指定管理者として指定するにあたり、再発防止の取組と、所管部署としてどのような確認を行ったのか。

答弁 愛知県住宅供給公社と一緒に原因分析を行い、再発防止策として、毎月の口座振替ファイルの提出時に、生活保護受給者で代理納付を行う方のリストから、抽出により事務処理済みであることを複数の職員で確認し、根拠資料と共に市へ提出させることとした。この提出書類を確認したのち、事務処理を進めることで、今後、同様な事務ミスを防ぐことを確認した。

環境福祉 委員会

12月14日及び25日、付託された15議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認し、請願1件は不採択としました。

【第119号】一般廃棄物処理施設条例の一部改正条例

質問 飲食用びんと飲料用缶を、全て民間処理に変更するとのことだが、民間処理事業者の選定方法はどのようなか。

答弁 飲食用びんは、既に、市が回収した量の約8割を、民間業者に処理を委託しており、今回の条例改正により対象となる分を追加する予定である。

飲料用缶については、従来、市が全量ブロックに成型し、価値を高めて売却していたが、今後はリサイクルステーション等で回収したものを、未処理のまま、売却する予定である。売却に際しては、運搬効率を考慮して、市内業者に限定するなど、一定の条件を付した上で、入札により売却先を決定する予定である。

【第120号】特定疾患患者見舞金支給条例の一部改正条例

質問 今回の見直しにより追加される支援事業に対して期待する効果はどのようなか。

答弁 1つ目は、専門医の個別相談における不安の解消である。消化器疾患などの相談においては、専門医が市役所へ来て、一人ひとりゆっくと相談に応じ、病状への心配や将来の不安を少しでも解消していただく。

2つ目は、日常生活用具の品目を拡大し、様々なニーズに対応することである。生命を維持するために必要である高価な装置が、少額な負担で購入でき、災害等に備えることができると考える。

3つ目は、病院で患者を一時的に預かることによる、介護者の負担軽減である。介護者が休めることで、引き続き在宅での療養生活を継続できる環境が整う。

4つ目は、難病家族会の開設により情報交換の機会が増えることである。同じ病気を持つ仲間と療養についての悩みなどを医師の助言を受けながら、分かち合う機会ができることである。

教育社会 委員会

12月17日及び25日、付託された24議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認し、請願1件は不採択としました。

【第128号】工事請負契約の締結（（仮称）松平地域体育館等用地造成工事）

質問 造成工事の際の交通安全対策はどのようなか。

答弁 造成工事の中で、体育館等への進入路は、現況の幅員を約4メートルから6メートルに拡幅するとともに、市道への接続部は滑り止め舗装を施し、冬季でも安全にアクセスできるように整備を進めていく。造成工事施工時における工事車両は、徐行運転を徹底するとともに、車両出入口には交通誘導員を配置するなど、交通安全対策を行いながら施工していく。また、こども園との連絡調整を密に行い、当該駐車場の利用の多い時間帯や園行事がある場合等については、特に注意を払っていく。

【第130号】指定管理者の指定（地域文化広場）

質問 今回、共同事業体として、アイレックススポーツライフ株式会社が加わることで、施設の運営に対して期待する点は何か。

答弁 アイレックススポーツライフ株式会社は、フィットネスクラブやスイミングスクールの経営、スポーツ施設の運営を主な業務としている。豊田地域文化広場では、プールの運営を行うことを予定しており、数々のプール運営の実績を生かしたレッスンプログラムを実施するなど、専門的な指導による利用者へのサービス向上を通じ、利用者の増加にもつながることを期待している。



委員会

地域生活

委員会

12月18日、付託された13議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。

【第158号】指定管理者の指定(市営駐輪場)

質問

前回の指定管理者は、駐輪場周辺500メートル範囲のパトロールによる防犯活動も行っていましたが、今回駐輪場管理業務からなくなったのはなぜか。

答弁

従来の駐輪場管理業務の中には、駐輪場内の放置自転車等の撤去業務及び市営駐輪場の巡回業務が含まれていたが、いずれの業務も新たな指定管理業務では除外している。

撤去業務については、別の委託業務である駐輪指導・撤去及び日曜返還業務委託に含めて一括で委託を行い、巡回業務については、現在、区画整理に伴う仮設駐輪場を除き、鉄道駅周辺駐輪場には防犯カメラが稼働していることから、業務内容を見直した。

【第176号】指定管理者の指定(どんぐりの里いなぶ)

質問

指定管理者制度総括評価シートの中で、S評価である地域貢献・地域との連携について、総括評価において、努力は一定の評価をしている、とあるが、その趣旨はどのようなか。

答弁

地産地消の一環として、豊田東高校と連携して、地域の農産物を使った商品の開発や、ジエグルメ街道スタンプラリーの事務局運営を手掛けるなど、地域と連携した集客努力を評価している。今後も取組の継続と深化を期待するものである。



どんぐりの湯キャラクター グリッピー

企画総務

委員会

12月19日、付託された7議案を審査し、いずれの議案も原案を妥当と認め承認し、請願1件は不採択としました。

【第191号】町の名称の変更

質問

変更による市民への影響はどのようなか。

答弁

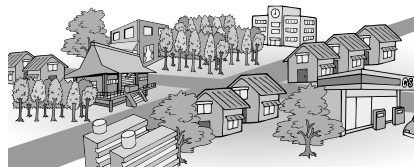
今回の町の名称の変更に伴い、住民基本台帳、戸籍、土地登記簿の表題部などのいわゆる公簿関係については、職権により変更を行うため、関係する市民が変更手続を行う必要はない。しかし、市が発行し、市民が現に所持しているカード類、証書、手帳等、さらには、自動車運転免許証や民間サービスに関する契約書類などの住所表記については、各自で変更の手続を行うことになる。その際、変更の手続をスムーズに進めてもらうため、町の名称の変更後、1年間は無料で住民票を交付する。

質問

変更に係る周知方法はどのようなか。

答弁

町の名称を変更した場合、地方自治法に基づく告示を行う。そのほか市ホームページ、広報とよたに掲載し、広く周知を図る。また、4つの町が存在する自治区においては、自治区長を通じて事前に住民、土地所有者、その他関係者から了解をもらっているが、変更が正式に決定した後、速やかに、自治区内でお知らせの文書を回覧してもらう。さらには、住民には、住所変更の手続が必要となるものの一覧表も全戸配布することで周知を図っていく。



予算決算

委員会

12月13日から21日にかけて付託された7議案を審査し議案の全てを全会一致で承認しました。

【第121号】平成30年度 一般会計補正予算

質問

豊田スタジアム修繕事業 メインマスト等再塗装について、工事の延長に伴う メインマスト・サブトラス再塗装、ケーブルカバー補修作業等の工程をどのように計画しているのか。また、工事延長による影響をどのように捉えているのか。

答弁

マストの工程計画では、現在はケーブルカバーの納品待ちであり、納品される平成31年2月から1本目のマストの補修に着手し、以降は2台のゴンドラを用い、塗装及び補修を順次進めていく。東側のマスト2本については今年度中に、西側のマストについては、梅雨前の5月末には工事を終える計画としている。また、サブトラスについては、今年度中に、東西部分全ての塗装を終える計画としている。

工事延長による影響については、今回の工事は屋根の上で行われる修繕工事であり、各種のイベントには影響はないと判断している。また、工期延長は平成31年5月末までと見込んでおり、ラグビーワールドカップ2019™の開催にも影響はないと考えている。

質問

本庁舎等総合管理業務委託事業について、共同企業体に参加していない業者が、共同企業体から再委託で仕事を請け負う際、今までより価格が下がり不利益を受けることはないか。

答弁

共同企業体が再委託をする場合に、請負価格が下がって不利益を受けないように対策を行った。具体的には、この総合管理委託の受託業者はプロポーザルで選定するが、受託業者が再委託する場合の価格について、適正な価格で請負がされるよう、業者選定の評価項目として盛り込むことにした。このことにより不利益を受けることは、防止できると考えている。



市政を問う!

12月10日から12日にかけて、22人の議員が市政の方針や考え方などについて問う「一般質問」を行いました。その質問と答弁の一部を要約して掲載します。

木本文也

自民クラブ



- 事業・事務の効率化の推進
- 総合野外センターの更なる充実

質問 環境変化に対応した再構築

市民に愛される施設であるために、トイレ、空調など、計画的な修繕計画を作り、施設改善に努めるべき。施設改修の方向性について見解を問う。

答弁 子供も部

計画的な施設の改修を行うことで、利用者が常に安全で安心して利用できる施設であることが重要であると考えます。このため、総合野外センターの計画的な修繕に向けて、施設の改修計画を2019年度に策定できるよう準備を進めています。この計画では、財政負担の平準化も考慮し、利用者の安全確保、使用頻度などの観点から施設の改修の優先順位付けを行っていく。

田代 研

公明党



- 防災減災対策
- 高齢者施策

質問 学校の避難所機能強化

避難所となる体育館へ常時は子どもたちのため、災害時は市民のためにエアコンを導入した方が良いと思うが本市の見解を問う。

答弁 地域振興部

現在、体育館へのエアコン設置の予定はないが、地域によっては、学校との協議により、要配慮者等に対してエアコンが設置された教室の活用を取り決めるなど、避難所運営について検討が進められ、こうした取組を全市に展開していくことが必要。また平成30年7月豪雨での被災地の避難所においては、プッシュ型支援による移動式スポットクーラー

等が設置され、本市においても、備蓄品の拡充や協定の締結なども視野に入れ、調達方法などを考えていく。

根本美春

諸派



- 高橋の車道通行止めによる市民への影響
- 企業主導型保育施設の定員割れと待機児童

質問 高橋の車道通行止めによる渋滞の影響の軽減

渋滞を軽減するため、市として愛知県に対し、通行止め期間の短縮を求めたい。これについての見解を問う。

答弁 建設部

本市としては、車道通行止めの期間を一日でも短縮してもらおうよう、愛知県に働きかけてきた。愛知県は、堤防掘削をより効率的に施工する方法を検討するなど、車道通行止めの期間を最小限にするための努力をしている。工事が順調に進んだ場合には一日でも早い交通開放を行うよう、今後も愛知県をお願いしていく。

杉浦弘高

自民クラブ



- 豊田市の特別支援教育
- 巴川流域における災害対策

質問 県立三好特別支援学校の過大化解消への対応

新たな県立特別支援学校の市内設置に向け、今後どのように進められていくのか、豊田市の考えを問う。

答弁 市長

建設候補地について検討してきた結果、2023年3月で閉校を予定している南山国際高等学校・中学校の跡地を特別支援学校の建設候補地として愛知県に近々申し入れを行う。今後は、特別支援学校の設置者である愛知県に、建設候補地として具体的に検討するよう働

きかけていく。豊田市の特別支援教育がより充実したものとなるように県と協議を進め、市と県が各々責任を果たしつつ、共に連携して障がい者の自立と社会参加の促進を支援していきたいと考えている。

原田隆司

諸派



- 市街地有害鳥獣被害防除
- 交通安全施設整備

質問 外来種の防除

アライグマ、ハクビシンが住み着き建物が利用できなくなる被害が起きている。住み着いた家屋・施設の対応を問う。

答弁 環境部

家屋等に住み着いてしまう被害については、民間の駆除業者に駆除してもらうなど、個人で対応してもらうことになるが、餌となるものを置かない、隙間をふさぐなど、まずは地域に寄せ付けない、家屋等に侵入させないように対策をすることが重要である。市で行っている農作物被害の対策を講じることで、家屋等への侵入被害など、その他の生活環境被害への影響も軽減できるものと期待している。

古木吉昭

市民フォーラム



- 第2次地域経営戦略プラン

質問 今後の取組

鞍ヶ池公園が魅力ある歳入につながる公共施設となるべく、民間活力を生かす取組の進捗について問う。

答弁 都市整備部

鞍ヶ池公園における民間活力を生かす取組については、平成29年度より検



※質問順に掲載しています。

※正式な会派名/自民クラブ：豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム：豊田市議会市民フォーラム
公明党：公明党豊田市議団 諸派：会派所属無

一般質問

討を進めている。平成29年度の利用者アンケートでは、今後、鞍ヶ池公園に望まれる施設の確認ができた。また参入に有利な条件が整ったこともあり、民間事業者へのヒアリングでは10社を超える事業者からの参入意向が確認できた。今年度は民間事業者の参入形態について検討を進めるため、参入条件のヒアリングを実施しており、今後、民間事業者のノウハウを生かしながら、取組をさらに進める。



鞍ヶ池公園

大村 義則

諸派



- 高すぎる国保税の引き下げを求める
- 教職員を増やして長時間労働の是正を

質問 業務改善による労働時間の削減

来年度から教員の労働時間把握が義務となる。適正な把握をするため、どのような体制づくりをするのか問う。

答 弁 学校教育部

豊田市では、平成31年4月からパソコンのログインからログオフまでの時間を自動的に記録し、市教育委員会がいつでも把握できる体制にしていく予定である。

梅村 憲夫

自民クラブ



- 持続可能な都市を目指す宅地供給と地価の抑制

質問 各供給手法による今後の宅地供給量は

今後4か年及び9か年での宅地供給

量をどのように見込んでいるのか。それぞれの手法による見込み量を問う。

答 弁 都市整備部

住宅マスタープランでは、2027年までに7,100戸の増加が必要とされている。まず、2022年までに4,000戸が必要で、土地区画整理事業及び市街化調整区域内地区計画で1,500戸を、その他民間による供給や市有地利活用で目標値を達成する。更に2027年までに土地区画整理事業や市街化調整区域内地区計画で2,300戸を、民間より1,500戸、高度利用や既存ストック及び新規施策で3,300戸を供給し目標達成する。特に2022年までの目標値は今年度中に庁内会議での連携を図り、同時にローリングで見直しを図り計画達成する。

北川 敏崇

自民クラブ



- 豊田特別支援学校の給食
- 学校給食における食物アレルギー対応

質問 豊田特別支援学校の給食に関する課題

豊田特別支援学校の給食は何を目指し、どのような給食を提供する必要があるのか。あるべき姿を問う。

答 弁 学校教育部

特別支援学校の給食の時間においては、子どもたちの健康状態の保持、増進を図るほか、障がいによる学習上または生活上の困難を改善・克服し、自立を図るための知識・技能を身に付け習慣づけることを目指している。このため、子どもたちの状態に合わせて、それぞれの能力を引き出せる給食を提供することが必要であると認識している。愛知県教育委員会では、豊田特別支援学校の給食についても、県内の特別支援学校と同程度の水準であるべきと考えている。

日 當 浩 介

市民フォーラム



- 保育環境の充実による子育て支援

質問 家庭保育への支援

在宅育児世帯への支援について、鳥取県の制度を参考とした本市の新たな子育て支援制度の導入を提言し、その考え方を問う。

答 弁 子ども部

鳥取県の制度においては、市町村も財政負担をする必要があることから、現金給付は、対象者の少ない町村レベルでの実施に留まっている。在宅育児手当は、子育て支援、少子化対策、待機児童対策などの効果が期待できるが、愛知県においては、鳥取県のような動きはなく、また女性の社会進出や財源の確保などを考慮すると、直ちに導入することは難しいことから、待機児童対策など、現在実施している取組を強化し、対応していく。

鈴木 孝 英

市民フォーラム



- デジタル技術の実装に向けた取組

質問 各分野におけるデジタル技術の導入

ICTを活用した保育業務支援システムを公立こども園へ導入することを提言するが、設置に向けた考えを問う。

答 弁 子ども部

今年度、システムが導入されている私立園へ出向いての状況確認や、システムを開発した事業者を招いての勉強会、保育師からのヒアリングなどを実施し、公立こども園での導入に向けた検討を進めているところ。導入に向けては、園現場での事務の見直しや個人情報保護などの課題もあるが、引き続き調査・研究を進め、前向きに取り組んでいきたいと考えている。



市政を問う!

議員氏名
会派名



○一般質問の大きなテーマ(大項目)
●以下の質問に関連している項目

岩田 淳

自民クラブ



- 国保制度改正による財政経営戦略と適切な運営
- 市街化調整区域における住宅施策

質問 豊田市開発審査会基準第18号による住宅施策

本制度を活用するにあたり指定区域を含め大規模な規制緩和をするべき。見直しと規制緩和への考え方を問う。

答弁 都市整備部

本制度の見直しを行うには、都市計画法の趣旨や、「市街化調整区域内地区計画」や、現在、策定中の「立地適正化計画」といった、行政計画等との整合や調整を図ることが必要である。その上で、全市的観点からも、コミュニティ維持には欠かせない子どもの人口や、自治区運営の持続などの要素を踏まえた地域性も考慮し、制度のあり方について適時検討を進めていく。

大石 智里

公明党



- 障がい児の子育てを社会で支えるために
- 誰もが安心して暮らせる住宅確保のために

質問 子ども・子育て支援の充実

障がい児の「長時間保育と療育」を可能とする施設設置が不足している。障がい児保育園の設置について市の考えを問う。

答弁 子ども部

女性の社会進出に伴い、就労を継続しながら、障がいのある子どもにも適切な療育を受けさせたいというニーズがあることは承知している。居宅訪問型保育事業と児童発達支援事業を併用する施設の設置は、そうしたニーズに応える有効な手段のひとつと考えている。現在、民間事業者に働きかけを進めていると

ここで、今後、先進事例などを含めて幅広く研究をしていく。

清水 郁夫

自民クラブ



- 教員の育成と部活動のあり方
- こども園の民間移管
- 持続性のある公共建築物の整備と適正な維持管理

質問 中学校における部活動のあり方

中学校での部活動は、今、大きく変わろうとしている。今後のあり方について、朝練習も含めて考えを問う。

答弁 学校教育部

小中学校の部活動の朝の練習は、来年度(平成31年度)からは原則中止の方向。ただし、猛暑や日没時間等により、午後に活動が全くできない時期もあり、その対応について、校長会等とも協議を進め、調整を図っていく。学校生活の中で、部活動が成長のために果たす役割は大きく、教育的な見地から部活動のあり方を随時見直し、改善につなげていくことが重要。具体例として、熱中症対策はマニュアルに準じて、ガイドラインに改善を加えていく。

岡田 耕一

諸派



- 市営住宅等における迷惑行為への対応
- 本市における災害対応
- 本市における森や自然を活用した幼保教育、保育

質問 市町村間、市及び関係団体間における応援協定等

整備工場等に災害対応車両を優先して修理、整備を行ってもらうためにも協定締結が必要。その所見を問う。

答弁 地域振興部

自動車整備振興会との災害協定の締結については、災害対応で使用される車両の整備や、救助活動に必要な資機材・工具の提供といった、本市が支援を

求めたい内容や、これまでに締結した他の協定内容について相互確認するとともに、現実的な対応や機動性なども踏まえて、判断していく。

杉本 寛文

自民クラブ



- 障がい者の自立支援と共生型サービス

質問 共生型サービスの推進

共生型サービスの実施にあたっての課題を踏まえ、推進に向けて市として今後どう取組を進めるのかを問う。

答弁 福祉部

「なぜ共生型サービスを推進するのか」といった理念を、各事業者と共有することが最も大切と思うが、実施には実務面でも支援が必要と考える。具体的には、障がい者の特性や接し方を学ぶ勉強会の開催や、書類の作成や事業に必要なポイントの説明会の開催で、実施する事業者を支援。総合相談窓口や地域包括支援センター、障がい者の相談支援事業所などにも制度の理解を図り、利用者が共生型サービスを選択肢の一つとできるような働きかけをしていく。

窪谷 文克

自民クラブ



- 交流館の役割

質問 地域づくりの拠点

市内の民間事業者から、交流館は予約が取りにくいとの声を聞く。交流館利用者の優先的な利用予約を問う。

答弁 生涯活躍部

交流館の予約については、地域づくりの拠点として地域の多様な活動を支援する観点から、自治区を始めとした地域団体、交流館の登録ボランティア団体や



質問 一般質問の小さいテーマ(中項目) **答弁** 回答した部局名
実際に質問した内容(小項目) 質問に対する市の担当部局の回答

自主グループに、一般より早い時期からの優先予約を認めている。一方、民間事業者については、一般利用と同じく1か月前からの予約となっている。なお、地域への貢献性が高く、事前準備にある程度の期間を要する場合は、必要に応じて通常の予約より早く受け付けることも可能としている。

塩谷雅樹

市民フォーラム



- 先進技術を活用した消防力の更なる強化
- 食の安全安心への取組

質問 給食における安全安心な取組

新たな給食センターの完成は、対応エリアの拡大に期待できる。食物アレルギー対応食の今後の拡充を問う。

答弁 学校教育部

食物アレルギー対応食については、東部給食センターの対応食と同じ水準まで、全ての小中学校で実施することを目標にしている。現在までに、民間業者による提供、既存センターの拡張、東部や新北部給食センターから他センターの対応エリアへの配送など、いろいろな方策を議論している。今後も、アレルギー対応食が少しでも拡大できるよう、関係者と協議をすすめていく。また既存の給食センターの環境整備を図るなど、安全安心な給食の提供に努めていく。

中村孝浩

市民フォーラム



- 高齢者の多様な移動支援サービスの充実

質問 今後の多様な移動支援サービス導入の取組

各地域のニーズにあった地域バスと自動運転を含む地域タクシー等のミックスタイプの移動手段の見解を問う。

答弁 都市整備部

各地域内の交通は基本的に地域バス、地域タクシーなどが、利用者にとって利用しやすいと考えている。しかし地域によっては、広大な面積を地域バスだけで担うことが難しく、住民共助の移動などの併用も必要であり、総合的に検討して判断すべき。現在、運行の効率化と超高齢社会への対応を図るため地域バス全体の見直しを検討しており、複数の移動手段の組み合わせについては、効率性と利便性の向上を前提に、地域バスの見直しの検討の中で参考とする。

水野博史

自民クラブ



- 過去の教訓を活かした雨水対策
- 強固な経済基盤のあるまちづくり

質問 生活・産業を支える道路整備

国道301号の未事業化区間を含めた全線4車線化の整備が必要と考えるが、本市はどう捉えているのかを問う。

答弁 建設部

国道301号のうち事業化されていない外環状線・泉町交差点から豊田松平インターチェンジまでの区間については、さらなる物流ネットワークの強化、交通の円滑化、また災害時の緊急輸送道路として重要な区間と認識している。今後は、事業中である野見山拡幅及び松平バイパスの進捗状況等を踏まえ、愛知県に対して事業化に向けた働きかけを行っていく。

宮本剛志

自民クラブ



- 防犯まちづくりの推進
- 避難所の質の向上を目指して

質問 質の向上を目指した避難所運営

避難所が役目を終え、元の施設としての役割を取り戻す過程で、生活再建に向けて住民主体の避難所運営の構築を問う。

答弁 地域振興部

ライフラインの回復など、生活を再開することが可能な時期になると、市災害対策本部において、避難所の縮小や統合、閉鎖の決定を行っていく。大規模災害の場合は行政の対応だけでは限界があり、生活再建には「自助・共助」が大切であり、自主防災会、自治区、民生委員等を含めて「避難所運営委員会」を組織することとする。しかし住民主体の避難所運営の認識は、まだ地域格差がある。地域の主体性が全市に広がることを目指す。

浅井保孝

自民クラブ



- 災害経験を生かした防災・減災対策

質問 受援体制の整備

職員の被災地派遣の経験を市民による防災活動にも生かしてほしい。市民目線での伝承活動を進めたいと考えるが見解を問う。

答弁 地域振興部

災害の経験や得られた教訓、被災地派遣における体験談等を、市民に伝えることは重要。現在、地域の自主防災訓練で、消防のOB職員や防災対策課職員によるセミナーの実施、近年の災害の状況や教訓などを盛り込んだ出前講座を実施している。竜神中学校の防災訓練において職員が講演を行い、生徒たちが避難所生活の大変さや自助の大切さを考えるきっかけになった。今後も、様々な機会を捉えて、市民の自助意識の醸成や共助による地域防災の推進に寄与するような伝承活動に努める。



市議会がラグビーワールドカップ2019™をPR

豊田市は、2019年に日本で開催されるラグビーワールドカップ2019™の会場の1つです。
豊田市議会ではラグビーワールドカップ2019™大会成功に向けた機運醸成のために様々な活動を行っています。
今後も素晴らしい大会になるように率先してPRを行っていきます。



最近の主なPR活動

9月23日(日)に行われた産業フェスタにおいて「ギネス世界記録 目指せ2019人スクラム」が行われました。今回の挑戦ではこれまでの記録を828人上回る2,586人で世界記録を達成しました。今回の挑戦にあたり、市議会としても参加協力し、認定証が授与されました。

◀ギネス世界記録公式参加認定証

市議会報告会を開催しました

10月25日から11月20日にかけて4つの常任委員会が市議会の活動報告と市内の様々な団体の皆様とテーマを決めて意見交換を行う市議会報告会を実施しました。

各団体の皆様の思いや意見を確認させていただき、今後の議会活動や豊田市のまちづくりに生かしていきます。

環境福祉委員会

開催日:10月25日(木) 意見交換団体:豊田市身障協会

「障がい者の就労支援について」をテーマに、障がい者の就労に関する現状や課題、今後の就労支援の取組について意見交換を行いました。



地域生活委員会

開催日:10月31日(水) 意見交換団体:防犯活動団体10団体

「豊田市の防犯力強化に向けた取組について」をテーマに、各団体から活動の状況と課題、それらの課題解決に向けて意見交換を行いました。



企画総務委員会

開催日:11月13日(火) 意見交換団体:関係5団体

「ラグビーワールドカップ2019™の成功に向けた取組と大会を生かしたまちづくりについて」各団体等の活動の状況と課題について意見交換を行いました。



産業建設委員会

開催日:11月20日(火) 意見交換団体:夢農人とよた

「農業がより魅力ある産業になるために」をテーマに、市内の若手農家と活動や課題等について意見交換を行いました。



市議会の予定

3月市議会定例会は2月22日(金)開会予定です

★代表・一般質問の様子を視聴できます★



豊田市議会
ホームページで

豊田市議会 検索

「動画で見る!代表・一般質問」をクリック!



録画放送は、質問者ごと、大項目ごとで閲覧可能です。
「市議会だより」のバックナンバーや会議録も
ご覧いただけます。



豊田市議会ホームページ

<http://toyota-shigikai.jp> (動画で見る!代表・一般質問)



ケーブルテレビで

ひまわりネットワーク 生中継&録画放送
チャンネル/121ch(ひまわりチャンネル)



FMラジオで

FMとよた(ラジオ・ラビート)生中継
チャンネル/78.6MHz

ご意見・ご感想

「市議会だより」について、ご意見・ご感想また、市議会へのご意見・ご要望もお受けしていますので、下記までお寄せください。

【宛先・お問い合わせ】

豊田市議会事務局

〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地

TEL.0565-34-6665

FAX.0565-34-6566

Eメール gikai@city.toyota.aichi.jp

※この冊子は、折込み「12月市議会定例会号」です。



豊田市議会は、古紙配合率80%の再生紙と大豆インキ、有害な廃液を一切排出しない水なし印刷方式を採用しています